

健康事業の推進へ アクサ生命と協定

上山市

上山市とアクサ生命保険

(東京)は25日、同市の自然や温泉など地域資源を健康増進・交流人口増につなげる「グアオルトかみのやま」の事業推進連携協定を結んだ。同社は企業訪問時に、蔵王高原坊平などで企業の健康経営支援と誘客を図る同市を紹介するほか、東北



協定書を手にする横戸長兵衛市長(右)と中尾和司支社長

上山市役所

の自治体初の「健康経営優良法人2022」(大規模法人部門)に認定された同市役所に対し、今後の申請や取り組みを支援する。

同社は2017年から6年連続で、健康経営優良法人の大規模法人部門上位の「ホワイト500」に認定されている。さらに県内では健康経営優良法人2022の認定を受けた99事業所の申請をサポートしている。こうした知見やネットワークを同市の取り組みに生かそうと、協定を結ぶことにした。同社が同様の協定を結ぶのは市町村単位では東北初。

同市役所で締結式が行われ、横戸長兵衛市長が「精神的にも肉体的にも健康で働くのが一番だが、それが難しいのが現代社会だ。ノウハウや情報をいただきながら上山市の健康事業を進

めていきたい」とあいさつ。同社山形支社の中尾和司支社長は「上山市の“心と体がうるおうまち”づくりに参

画できることは大きな誇りだ。連携内容の実践にまい進し、貢献する」と述べた。

(鈴木潤)